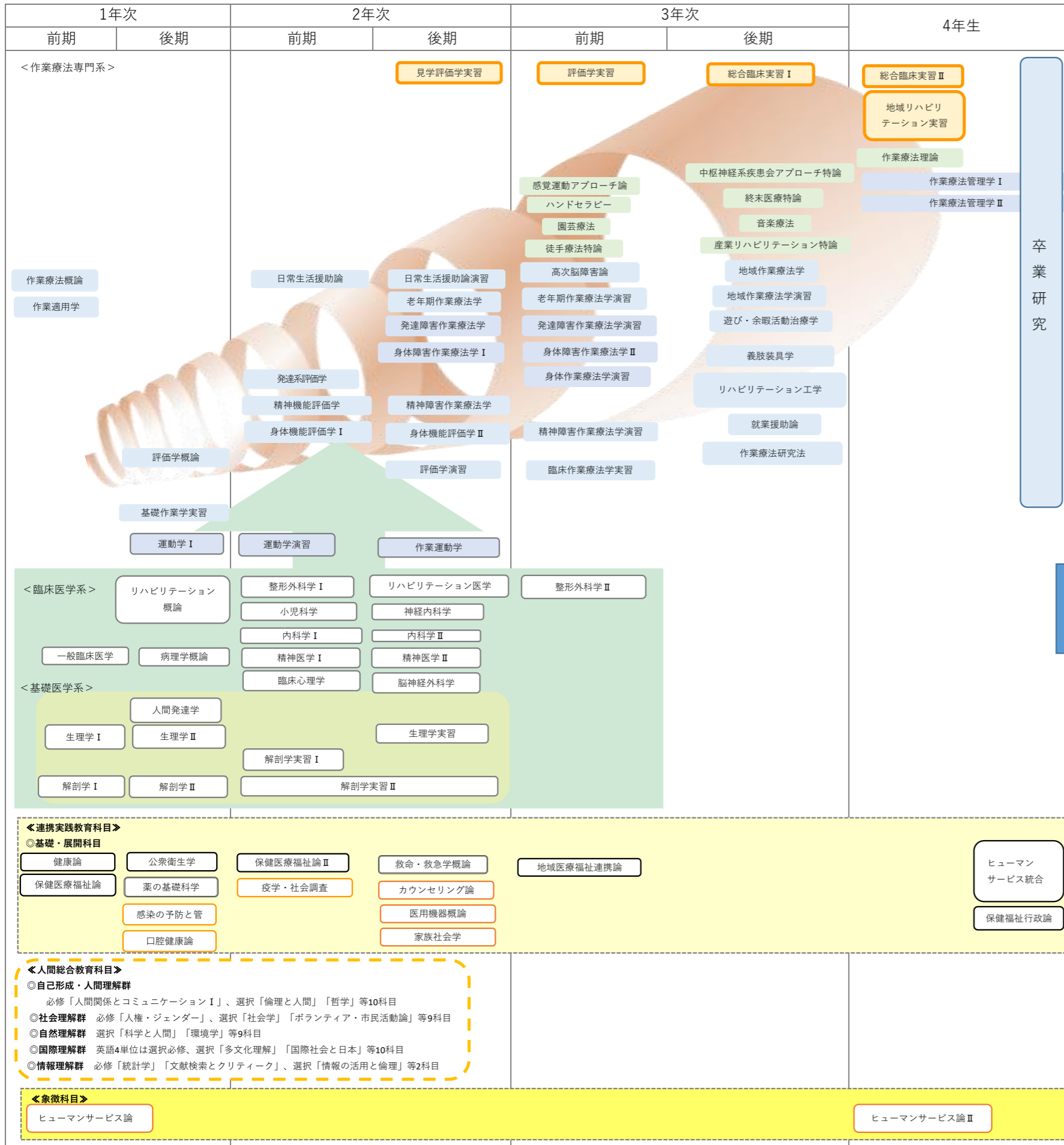


リハビリテーション学科 作業療法学専攻 カリキュラムツリー



保健福祉学部 ディプロマ・ポリシー

- かけがえない存在である「ひと」を深く理解するとともに、豊かな人間関係を築く力を修得したもの
- 人々のニーズやコミュニティが抱える様々な課題を広い視野で考察、分析し、市民との協働により解決する力を修得したもの
- 人々にとって最適な保健・医療・福祉サービスを提供するため、常に科学的根拠に基づく判断力を持ち、高い倫理観や人権意識を基盤とした実践力を修得したもの
- 保健・医療・福祉に関する幅広い知識や技術を理解するとともに、連携して協働できる力を修得したもの
- 専門領域における基礎的知識や技術を十分理解するとともに、主体的に学問を探究し、真理を追究する姿勢を修得したもの
- 国際的な視野に立ち、コミュニティを基盤として広く世界に貢献する力を修得したもの

リハビリテーション学科 ディプロマ・ポリシー

- リハビリテーションの基本的な知識・技術を習得するとともに、対象者を深く理解し、最適なリハビリテーションを創造・提供できる能力
- 在宅・地域リハビリテーションに関する知識・技術を身につけ、小児から高齢者の心身機能の維持と改善、QOLの向上、生活の自立を支援する力
- 生涯学習を継続し自ら研究する姿勢を身につけ、将来においてリハビリテーションの分野で指導的役割をこなせる基礎的能力
- 理学療法学専攻においては、小児から高齢者まで幅広く対象とし、疾病による障害の回復のみならず、健康者の健康維持から高齢者の介護予防まで、身体機能の維持改善に関する知識・技術を身につけ、幅広い分野での問題を解決する能力
- 作業療法学専攻においては、健康の維持・増進を目的に作業とその作業を行う人間の関係を科学的に探究し、身体的・精神的障害の改善に必要な知識・技術と実践的な能力を修得したもの

作業療法学専攻 ディプロマ・ポリシー

DP1: 作業療法の理論・技術の基礎となる「ひと」を深く理解する能力を修得したもの

DP2: 「ひと」を作業的存在としてとらえ、ひとりひとりに合った作業療法を実践するために必要な基本的知識と理論を学び、作業療法実践に臨む能力を修得したもの

DP3: 支援を必要としている人々に最適な作業療法を提供するため、常に科学的根拠に基づく判断力、問題解決能力と高い倫理観や人権意識を身につけ、作業療法実践に臨む能力を修得したもの

DP4: ヒューマンサービスの理念を理解し、人々の健康と安心の維持・増進のため、保健・医療・福祉に関する幅広い知識や技術を理解し、関連する職種と連携・協働できる能力を修得したもの

DP5: 作業療法を学問として科学的・論理的に研究し、臨床に貢献できる能力を修得したもの

DP6: 国内外で指導的な立場に立ち、広い視野で地域社会および世界に貢献できる能力を修得したもの